



展示室

デスモスチルス^{けとん}気屯標本 頭骨の実物を展示

気屯標本は、デスモスチルス類最初の全身骨格で、1933年、当時の樺太支庁敷香町気屯で発見されました。翌年の発掘をへて、1936年には、復元骨格が組み立てられます。**世界初のデスモスチルスの全身像**、とともに、**日本初の古生物の骨格復元**でもあります。

デスモスチルスの骨格は、普通の哺乳類と違ったところがたくさんあります。気屯標本は、3人の研究者が復元に取り組み、それぞれことなつた体形の復元ができあがりました。当館には、長尾巧さん（北海道帝国大学教授）、亀井節夫さん（京都大学教授）、犬塚則久さん（東京大学）による3復元が並んで展示されています。

気屯標本は北海道大学総合博物館に収蔵されています。同博物館は今年開設10周年を迎え、これを記念して、収蔵資料を関連する博物館で展示する「サテライト展示」が企画されました。足寄にはやはりデスモスチルス。展示室の長尾復元と亀井復元の間に、**頭蓋と下顎骨の実物**が並んでいます。柱を束ねたような独特の臼歯を前から順に使う様子がよくわかります。**【9月末まで展示する予定です】**



長尾復元・亀井復元の間に



頭蓋の腹側面と下顎骨がみえる

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

No. 106

2009年7月22日発行

089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 電話 0156-25-9100 ファックス25-9101

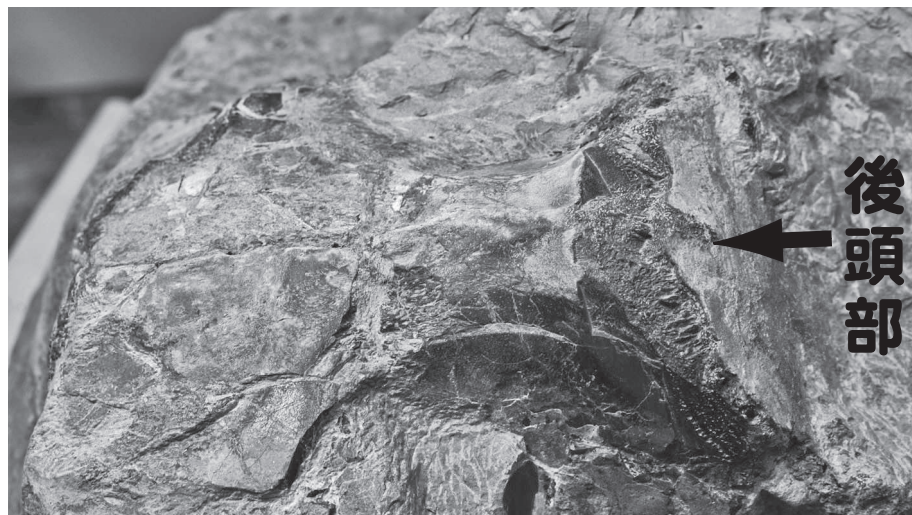
Eメール staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

ホームページ <http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp> (博物館だよりpdf版あり)

茂螺湾からクジラ頭骨 歯のあるヒゲクジラのやや古いタイプ

今年は大雨が多く、茂螺湾川沿いの崖はかなりけずられています。7月はじめ、矢吹勝家さんが、1980年にベヘモトプスが産出した地点の10メートル下流で化石骨を含む岩塊を発見しました。7月7日に矢吹さんと館職員がこの岩塊を博物館に運びました。

化石工房の「新着標本」展示場で骨周辺のクリーニングをはじめたところ、クジラの頭頂部が見えてきました。所蔵しているレプリカと比べたところ、米国ワシントン



州で発見された歯のあるヒゲクジラの一つコーネクトゥスに近いことがわかりました。形態や大きさの比率が少し違うのでまたまた新しい種類の可能性があります。

後頭部

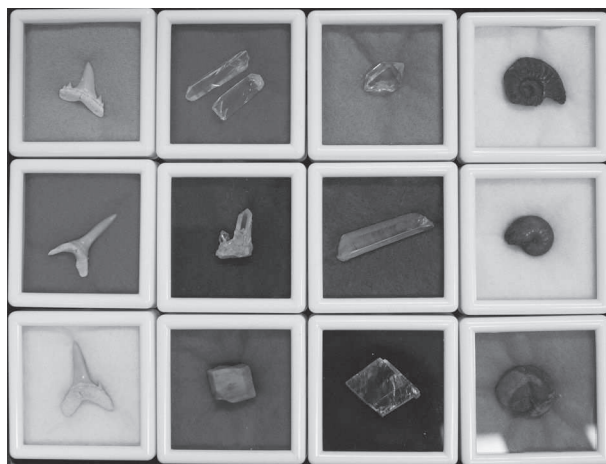
化石体験

ミニ発掘「クリスタル」と標本ケース

6月に予告したミニ発掘「クリスタル」は、8月1日に開始します。ただし、数が少ないので、**一人1個、おみやげ無し**、とします。費用は、化石と同じ200円です。

また、化石やクリスタルを入れるとグンとひきたつケースを用意しました。ぜひ一度ご覧ください。

いままでの、ミニ発掘「化石」とレプリカづくりもありますよ。



休館日 || 8月 休館日 無し

博物館の動き 8月 (館の行事や職員の動き, 来館団体, など)

3日	幕別町少年団, 帯広児童保育センター(光南)	20日	帯広市中央わかば会
4日	帯広児童保育センター(青葉)	22日	池田町わんぱく体験塾
5日	帯広児童保育センター(柏)	24日	螺湾小学校親子レク
6日	中札内村放課後児童クラブ	27日	計根別小学校・養老牛小学校合同
7日	帯広児童保育センター(東)	28日	中西別小学校
10日	中標津丸山小学校	30日	十勝管内高等学校初任者研修

8月中は全日開館します